

女子大学図書館で所蔵していない資料の探し方

[Step 1]. 学習院大学の図書関係機関で所蔵している資料を利用する。

女子大学の学生も、学習院大学の図書関係機関を利用できます。直接来館しての利用も可能なほか、大学図書館や法経図書センター所蔵の図書資料については、GLIM/OPACの画面から、女子大学図書館への予約取り寄せが可能です。また、哲学科やドイツ語圏・フランス語圏文化学科研究室所蔵の図書資料は、女子大学図書館の閲覧カウンターを通じて予約取り寄せができます。

利用条件は研究室ごとに異なります。事前に利用条件一覧を確認するか、閲覧カウンターまでお問い合わせください。夏季・春季等休業期間中は、通常の日程と異なるのでご注意ください。

学習院大学からの図書資料の取り寄せ方法

URL: http://www.gwc.gakushuin.ac.jp/library/provide_service.html#section4

QRコード



学習院大学図書関係機関の利用条件一覧

URL: http://www.gwc.gakushuin.ac.jp/library/TermofUse_gakushuinuniv.pdf

QRコード



[Step 2]. 他機関の図書館を利用する - I - 【事前手続き不要】

学習院内で資料を未所蔵の場合は、他機関の図書館を利用することになります。手続き不要で他機関の図書館を利用する場合には、主に以下の3つの方法があります。

2-a. 協定校 (f-campus) の図書館を利用する

f-campus で他大学の授業を受講している方は、受講期間中、受講している大学の図書館をご利用になれます。ただし資料の閲覧のみで、館外貸出はできません。事前に各館の利用案内を確認の上、手続きに従ってご利用ください。授業を受講していない (または受講期間外の) 方は、女子大学図書館を通じての事前手続きが必要です (後述「Step 3」参照)。ご注意ください。

2-b. 公共図書館や公的研究機関の図書館を利用する

公共図書館であれば、閲覧に関しては基本的に手続き不要でご利用になれます。利用条件に合致する場合は、身分証 (学生証) の提示等申請を行った上で、館外貸出が可能になる図書館もあります。専門書や学術書は大学に比べて少ないですが、国立国会図書館*1 や都道府県立の中央図書館は、専門的な資料も数多く所蔵しています。

所蔵資料は、各館で公開している OPAC で確認できます。また、公共図書館の所蔵資料を横断検索できるサイト*2 もあります。

国や地方自治体などの公的研究機関にある図書館にも、手続き不要で閲覧利用のできる場所があります。ただし、事前申請が必要な場合や、利用時間帯や利用者の身分を限定している場合もあります。出かける前に必ず利用条件をご確認ください。

国立国会図書館 URL: <http://www.ndl.go.jp/>

QRコード



カーリル 日本最大の図書館検索

QRコード



URL: <https://calil.jp/>

※1 国立国会図書館



※2 公共図書館横断検索 (カーリル)



女子大学図書館で所蔵していない資料の探し方

2-c. 一般公開している国立大学図書館を利用する

東京大学の総合図書館（本郷）など、国立大学の図書館の中には、社会貢献・国民還元の一環として、一般利用者の方に身分証（学生証）の提示のみで利用提供を行うところがあります。基本的には閲覧のみですが、利用条件が合致すれば館外貸出が可能なところもあります（要手続）。

所蔵資料は、各館で公開している OPAC で確認できます。また、私立大学も含め大学図書館の所蔵資料を一括検索できるサイト*3 もあります。

ただし大学によっては、利用時間帯や利用者の身分を限定している場合や、紹介状が必要となる場合もあります。また、同じ大学内の図書施設でも、施設ごとに扱いの異なる場合があるため、出かける前に必ず利用条件をご確認ください。

※3 大学図書館所蔵一括検索（CiNii Books）



CiNii Books

URL : <http://ci.nii.ac.jp/books/>

QR コード



※4 紹介状（見本）



[Step 3]. 他機関の図書館を利用する - II - 【事前手続き要】

私立大学の図書館など、一般公開していない図書館を利用する場合には、学生証と女子大学図書館の紹介状*4 を持参して、その図書館の資料を利用することができます。

紹介状の発行にあたっては、事前に所蔵館に閲覧申し込みを行う必要がありますので、利用希望日とともに図書館のレファレンスカウンターにお申し出ください。

※一部の例外を除いて、お申込み当日に紹介状を発行することはできません。

※取り寄せの方が安く便利な場合もあります。用途に応じて使い分けてください。

[Step 4]. 論文や図書を取り寄せる【有料】

近郊遠方に限らず、他大学図書館で所蔵している図書や、他大学所蔵雑誌に掲載されている論文の複写物を取り寄せることができます。所蔵館が遠方の場合や、同じ図書を集中的に何日も利用する場合には、訪問利用よりも便利です。なお、取り寄せは実費負担となります。

資料の取り寄せは図書のみで、雑誌は対象外です。雑誌の場合は、必要箇所の複写物取り寄せのみとなります（逆に図書の複写申し込みは、著作権法上の理由から難しい場合が多いです）。

取り寄せ可否の判断については、全て依頼先に一任となります。お申込み頂いても、最終的にご要望に添えないことがありますので、あらかじめご承知置きください。

<図書の取り寄せ>

料金負担：当館に配送されるまでの送料（依頼先により、+手数料）

※過去3年間の平均価格は、一件あたり 600～700 円程度（目安）

到着までの期間：3日～1週間程度（依頼先の受付状況により異なります）

利用できる期間：到着後2週間～3週間程度（依頼先の貸出規則により異なります）

※図書館外への持ち出しはできません。図書館内での閲覧（複写）となります。

<複写物の取り寄せ>

料金負担：コピー代金（一枚につき平均 40～50 円）+送料の実費（依頼先により、+手数料）

※過去3年間の平均価格は、複写物一件あたり 500 円程度（目安）

到着までの期間：3日～1週間程度（依頼先の受付状況により異なります）

以上